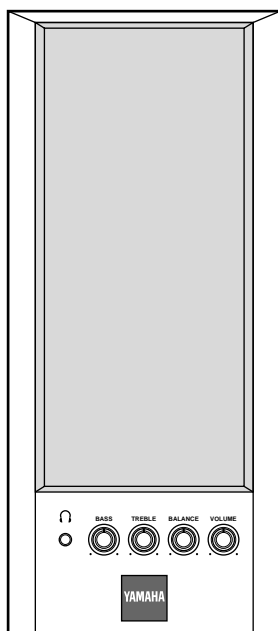
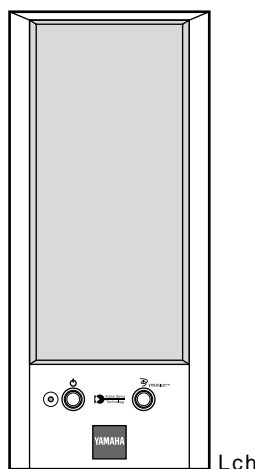
YAMAHA

POWERED MULTIMEDIA SPEAKERS

YST-M100

このたびはヤマハYST-M100パワードマルチメディアスピーカをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ヤマハアクティブサーボテクノロジーおよびワイマージョン（3Dエンハンスメント）によるすぐれたサウンドを存分にお楽しみください。

取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

安全上のご注意 （安全に正しくお使いいただくために）

● ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

● この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

● 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続したり、表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

● 風呂場で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 万一、本機を落としたり、損傷した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

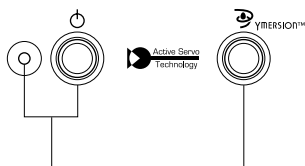
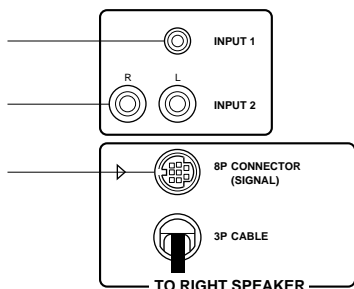
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 移動させる場合は、本機のPOWERスイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、人災・感電の原因となることがあります。
- 接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
- 電源プラグを接続する前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- キャビネットをあけたり.分解しないでください。故障の原因になります。修理が必要な場合は。お買い上げ店にご相談ください。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

- コントロールのつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
- テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカの破損の原因となります。
- 本機は防磁設計となっていますがコンピュータのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
- 故障と思われるときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。

■ 左スピーカユニット

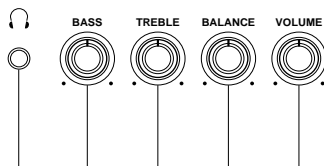
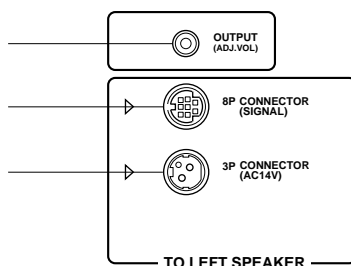
● フロントパネル

● リアパネル

■ 右スピーカユニット

● フロントパネル

● リアパネル

【フロントパネル】

① POWER（パワー）スイッチ／インジケーター

スイッチを押すと電源が入り、インジケーターが点灯します。もう一度スイッチを押すと電源が切れ、インジケーターが消灯します。

② ワイマージョン（3D Enhancement（エンハンスメント））スイッチ

スイッチを押すとステレオ音声にワイマージョン効果が働きます。もう一度スイッチを押すと通常のステレオ音声に戻ります。

ワイマージョン効果はステレオ音声にのみ働きます。また、ヘッドホンでは正常なワイマージョン効果は働きません。

③ ヘッドホン端子

ステレオヘッドホンでモニターするときに接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカから音は出なくなります。

④ BASS（バス（ベース））コントロール

低音域を調整します。

右に回すと低音が強調され、左に回すと減衰されます。

⑤ TREBLE（トレブル）コントロール

高音域を調整します。

右に回すと高音が強調され、左に回すと減衰されます。

⑥ BALANCE（バランス）コントロール

左右のスピーカの音量バランスを調節します。

右に回すと音が右に寄り、左に回すと左に寄ります。

⑦ VOLUME（ボリューム）コントロール

スピーカシステム全体の音量を調整します。

右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

本機のOUTPUT端子を使用してサブウーファと接続するときは、サブウーファのボリュームコントロールを適宜・一定にして、本機のボリュームコントロールで全体の音量を調整します。接続するサブウーファの取扱説明書もあわせてご覧ください。

【リアパネル】

⑧ INPUT 1

スピーカシステムへ信号を入力します。
接続は付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルで行います。

⑨ INPUT 2

スピーカシステムへ信号を入力します。
接続は付属のRCAピンプラグケーブルで行います。

※ INPUT 1とINPUT 2の端子に同時に機器を接続することにより、2系統の信号を入力することができます。たとえば、CD-ROMプレーヤとパソコン本体の出力をそれぞれの入力端子に接続できます。ただし、それぞれの機器から同時に信号を入力すると、信号はミックスされます。

⑩ 8P CONNECTOR(SIGNAL)

付属の8ピンプラグケーブルで右スピーカの8P CONNECTOR端子⑫と接続します。

⑪ OUTPUT(ADJ. VOL)

本機のVOLUMEコントロールで調節された信号が出力されます。
端子は3.5mmステレオミニジャックで、サブウーファなどを接続します。

⑫ 8P CONNECTOR(SIGNAL)

付属の8ピンプラグケーブルで左スピーカの8P CONNECTOR端子⑩と接続します。

⑬ 3P CONNECTOR(AC14V)

左スピーカから出ている3ピンケーブルを接続します。

※ 右スピーカの3P CONNECTORからは左スピーカへの電源が供給されます。このコネクタに他の機器を接続しないでください。故障の原因となります。

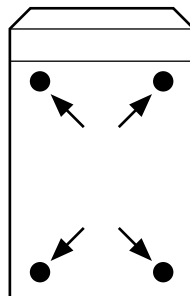
※ 3ピンケーブルを右スピーカ端子から外すときは、必ず端子のモールド部分を持って引き抜いてください。(端子モールド部分を持って引き抜くことによりロックが解除されます。)

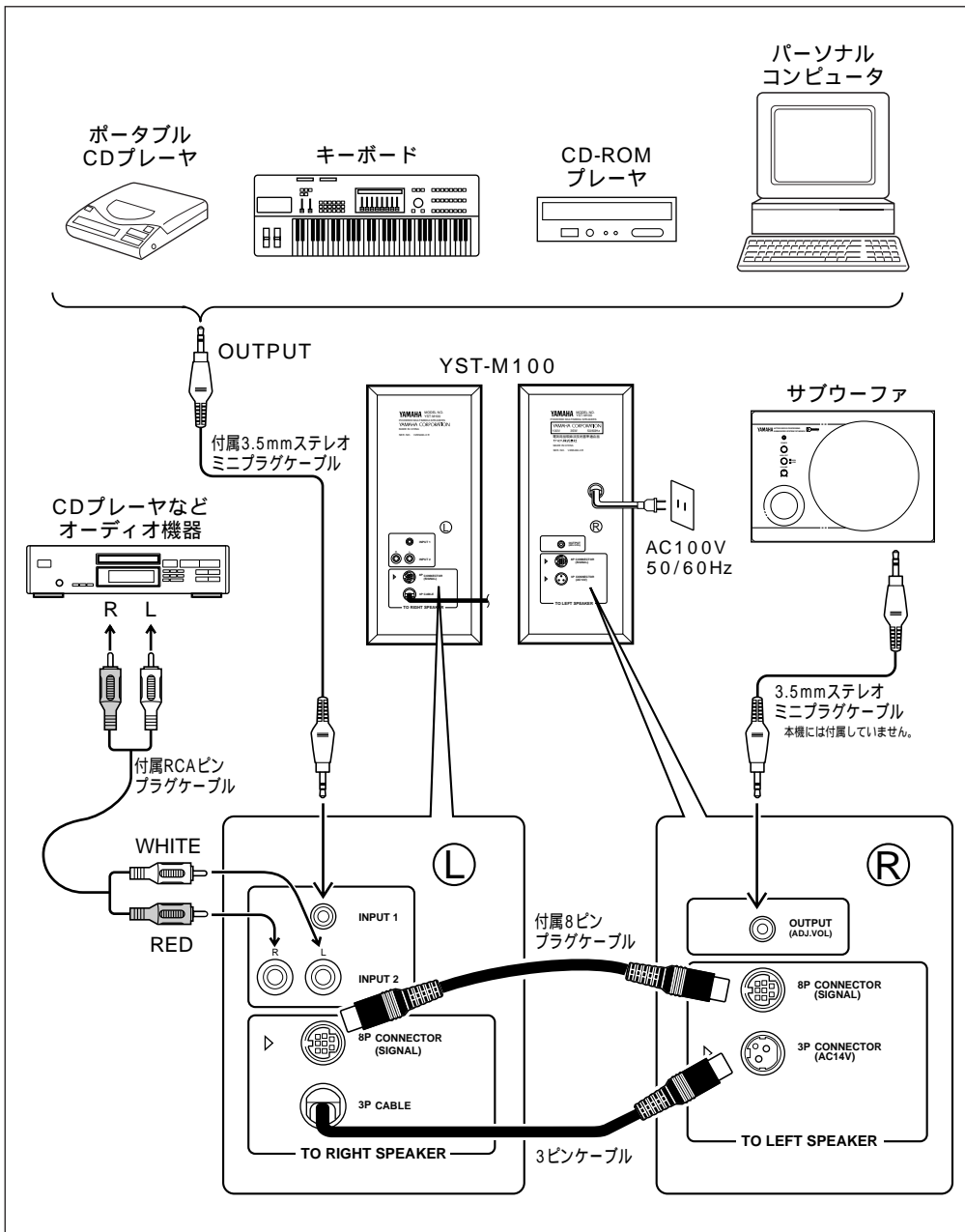
YMERSION

ワイマージョン(3D Enhancement)について

ワイマージョンは通常のステレオソース再生時に拡がり感を強調し、2つのスピーカーのみで立体的(3D)な音場をつくり上げるヤマハ独自の技術です。聴感上、自然感があり、長時間聴いても疲れにくい特長をもっています。
ワイマージョンは、左スピーカのワイマージョンスイッチで効果のON/OFFを切り換えることができます。

すべり止めパッド

図のようにスピーカの底面に付属のすべり止めパッドを取り付けてください。スピーカがすべりにくくなり安定します。
※ 安定した平らな面に設置して使用してください。

接続例

● 接続は必ず各機器の電源を切ってから行ってください。
● 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

故障かなと思ったら

下の表に従ってもう一度確かめてみてください.そのうえで正常に動作しないあるいは下記以外の何か異常が認められる場合は、本機のPOWER(電源)スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問い合わせの上サービスをご依頼ください。

症　状	原　因	処　置
音が出ない。	● 電源プラグがコンセントから抜けている。 ● POWER(電源)スイッチが入っていない。 ● 接続が正しくされていない。(または接触が不完全。) ● VOLUME(音量)が最小になっている。 ● 入力信号が小さすぎる。 ● ヘッドホンを接続している。	● 電源プラグをしっかりコンセントに差し込む。 ● POWERスイッチを押す。(インジケーターが点灯。) ● 接続を確認する。または別のコードを使ってみる。 ● VOLUMEコントロールを右に回して音量を上げる。 ● 接続した機器の音量を上げる。 ● ヘッドホンを抜く。
音が割れる。	● 入力信号が大きすぎる。	● 接続した機器の音量を下げる。
ノイズが出る。	● 接続が正しくされていない。(または接触が不完全。)	● 接続を確認する。または別のコードを使ってみる。
電源ON時にノイズが出る。	● 本機の電源コードがアンプなどのSWITCHED AC OUTLETに接続されている。	● UNSWITCHED AC OUTLETに接続し直す。その後、本機のPOWERスイッチをON／OFFして電源が入／切できるか確認する。
ワイマージョン(3Dエンハンスメント)が働かない。	● 入力信号がモノラル。 ● ワイマージョンスイッチが入っていない。	● ステレオ信号を入力してください。ワイマージョンはステレオ信号に働きます。 ● ワイマージョンスイッチを押す。

● ヘッドホン使用時にVOLUMEコントロールを最大にするとスピーカから小さな音が聞こえることがあります。
● POWERスイッチを切ってもVOLUMEコントロールが最大になっていると、接続したヘッドホンから小さな音が聞こえることがあります。

保証とアフターサービス

● 保証期間は、お買い上げの日から1年です。
● 故障のときはすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をお申しつけください。
　その際、必ず左右のスピーカユニットを合わせてお持ちください。
● ご転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できないときは、弊社電気音響製品サービス拠点にご相談ください。
● 修理、アフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げの販売店または弊社電気音響製品サービス拠点までお問い合わせください。
● 補修用性能部品の最低保有期間
　補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● 摩耗部品の交換について
　本機には使用年月とともに性能が劣化する部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

仕　様　※仕様は予告なく変更することがあります。

タイプ	アクティブサーボテクノロジー方式
出力	20 W＋20 W（1 kHz、4Ω、10% T.H.D.）
入力感度	200 mV（1 kHz、20 W／4Ω）
入力インピーダンス	10 kΩ
再生周波数帯域	50 Hz〜20 kHz
スピーカユニット	
ツイータ	1.5 cmドームタイプ、圧電型
ウーファ	9 cmコーンタイプ、防磁型
入力部（左チャンネルスピーカユニット）	3.5 mmステレオミニジャック×1（INPUT1） RCAピンジャック×1（INPUT2）
出力部（右チャンネルスピーカユニット）	3.5 mmステレオミニジャック×1
出力インピーダンス	50 Ω
出力レベル	0.6 V（200 mV定格入力）
定格電源電圧	AC100 V、50/60 Hz
定格消費電力	35 W
寸法（幅×高さ×奥行き）	121×276×171 mm／台
重量	
右チャンネルスピーカユニット	3.5 kg
左チャンネルスピーカユニット	2.5 kg
付属品	3.5 mmステレオミニプラグケーブル（1.8 m）×1本、RCAピンプラグケーブル（1.8 m）×1本、8ピンプラグケーブル（1.8 m）×1本、すべり止めパッド×8

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持込窓口

北海道　〒064-0810　札幌市中央区南十条西1-1-50
　ヤマハセンター内
　Tel（011）512－6108
仙台　〒984-0015　仙台市若林区卸町5-7
　仙台卸商共同配送センター3F
　Tel（022）236-0249
首都圏　〒211-0025　川崎市中原区木月1184
　Tel（044）434-3100
東京　（お持込修理のみお取扱い）
　〒108-8568　東京都港区高輪2-17-11
　Tel（03）5488-6625
浜松　〒435-0048　浜松市上西町911
　ヤマハ（株）宮竹工場内
　Tel（053）465-6711
名古屋　〒454-0058　名古屋市中川区玉川町2-1-2
　ヤマハ（株）名古屋流通センター3F
　Tel（052）652-2230
大阪　〒565-0803　吹田市新芦屋下1-16
　ヤマハ（株）千里丘センター内
　Tel（06）877-5262
四国　〒760-0029　高松市丸亀町8-7
　（株）ヤマハミュージック神戸　高松店内
　Tel（0878）22-3045
広島　〒731-0113　広島市安佐南区西原6-14-14
　Tel（082）874-3787
九州　〒812-8508　福岡市博多区博多駅前2-11-4
　Tel（092）472-2134

お客様ご相談センター

（ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口）

TEL（03）5488－5500

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
　営業部　Tel（053）460-3451
　品質保証室　Tel（053）460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

VZ65270-0